

■学校教育目標■ ふるさとを愛し 心身ともに健康で 自ら学び挑戦する人の育成

マ東小だより

令和7(2025)年7月11日(金)

7月号① 文責 市川

私たちの学校は、私たちの手

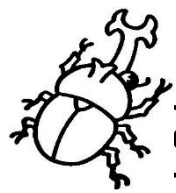
1年生中心に4月から続けてきたあいさつ運動ですが、少しずついろんな学年に広がってきています。6月からは、「あいさつがんばりカード」を作成し、あいさつ運動に参加してくれた子たちにシールを貼り、続けていくよう励ましているところです。



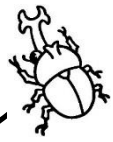
7月になって4・5・6年生の代表委員、放送委員会の児童を代表して3名が校長室に来て、あいさつ運動と一緒にやりたいと申し出てくれました。「マキノ東小学校を子どもたちにとって全国一の居心地のよい場所にしよう!」と話してきたことが、徐々に子どもたちに浸透してきたのかなと手ごたえを感じています。

今後さらに高学年のリーダーシップの元、学校にとって、子ども達にとって居心地のよくなる取り組みができるのではないかと2学期の活躍を期待しています。



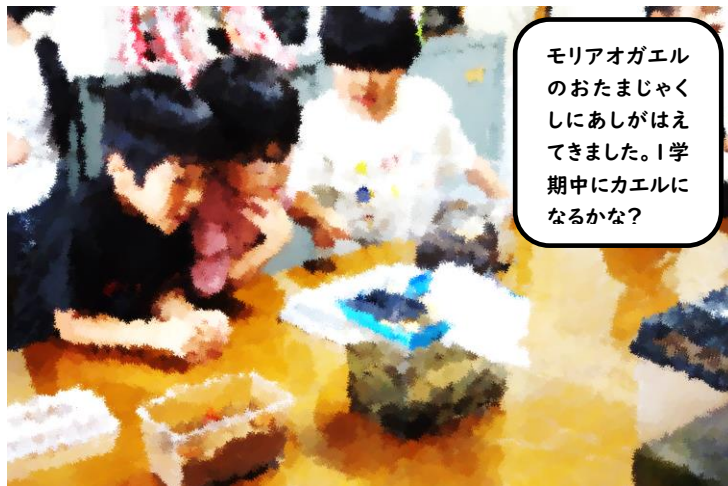


ふ化した！カブトムシ



ふ化したカブトムシを見つめる1年生の子ら

6月から さくら、1年～6年の各教室に預けていたカブトムシのサナギが次々とふ化し、成虫となりました。各学年から「カブトムシになったよ!」「つのがあるからオスやで」と校長に



モリアオガエルのおたまじゃくしにあしがはえてきました。1学期中にカエルになるかな？



カブトムシランドの様子①



カブトムシランドの様子②

声をかけてくれました。そこで、成虫になったカブトムシを集めて8日(月)から校長室で「カブトムシランド」を開催しています。

自宅でも飼っている子、カブトムシの扱いに慣れている子、実際に見るのも触るのも初めての子入り乱れて、「持ち方は…」「クワガタは…」などと喧々諤々の様子です。マキノ東の子どもたちは生き物が好きな子が多いなあとと思います。